

焼き板づくり

1 活動のねらい

杉板をたき火で焼き、ワイヤーブラシで磨き、絵付けをして作品にします。花山の体験をより深め、心に強く焼き付けることができます。

2 育てたい能力

A5 自己肯定 C3 野外技能・生活

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

・営火場 ・工作館 ・野外炊事場 ・ピロティ ・キャンプ場

4 活動時期

通年 ※冬期は工作館またはピロティで実施（40名程度）

5 所要時間

2～3時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動 ※はじめに職員が説明や指導をします。

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

・焼き板教材（食堂売店で購入可）

Aセット（着色有）380円

板1枚、ひも1本、ヒートン2個、ペーパーパレット1枚
 アクリルガッシュ（3人につき1本）※色は選べます
 薪（目安：16人で1束）

Bセット（着色無）340円

板1枚、ひも1本、ヒートン2個
 薪（目安：16人で1束）

アクリルガッシュ：1本各150円〔白・黄・青・緑・ピンク・オレンジ〕

ペーパーパレット：1枚20円

・活動に適した服装 ・軍手 ・マッチ（チャッカマン） ・布きれ ・新聞

【自然の家で貸し出しできるもの】

・火ばさみ ・ワイヤーブラシ ・一斗缶 ・水溶きペン（筆） ・筆洗いバケツ

8 活動の手順

①人数確認、服装の点検、健康状態のチェックをします。準備ができれば、職員を呼んでください。



②職員が活動の手順や注意点を説明します。



③用具を準備します。



④薪に火をつけて、焼く準備をします。



⑤火ばさみで板を挟んで両面を焼きます。濃淡を作ってもおもしろいです。



⑥ワイヤーブラシを使って、木目を生かしながらすすを落とします。

つまるので、水場にはすすを流さないでください。



⑦布で木目に沿って光沢が出るまで磨きます。



⑧水溶性ペン（筆）を使用し、アクリルガッシュを使って、絵や文字を書きます。



⑨乾いたらヒートンを取り付けます。

取り付け口が割れないように注意しましょう。



⑩ひもを取り付けて完成です。



⑪後片付けをします。

※必ず引率者が立ち会ってください。

⑫灰捨場に灰を捨て、活動場所の掃除をします。（破損等があれば事務室へご連絡ください。）

9 留意点

- 用具は、複数の団体が使用しますので、**必要個数だけ使用**してください。
- 活動に使用した道具は、責任をもって返却してください。
- 風向きを確認しながら活動し、やけどや火の取り扱いには十分注意してください。
- 特にすすの掃除は念入りに行ってください。
- アクリルガッシュが乾くまで時間がかかるので、時間配分や活動の順番等に注意してください。
- 焼いて磨くところまでを行って、帰ってから絵付けをすることもできます。
- 作品を持ち帰るための、新聞紙やビニール袋などがあると便利です。
- 洗い場では、**絵の具の塊を捨てないように注意**してください。